

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近世の日本	21	○織田・豊臣及び江戸幕府諸政策を通じて新しく安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解できる。 ○西洋の文化や東南アジアへの渡航など、対外関係に目を向け、交流が盛んだった時期から外国との関わりが限定的になっていった時代の流れを大まかに理解できる。 ○安定した社会が徐々に行きづまっていく原因となる社会の仕組みや経済の変化について考察する。 ○産業や交通の発達により、町人文化が生まれ、それが現在も文化財として残っていることを把握し、文化的遺産を尊重する態度を身に付ける。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴を理解し、知識を身に付けている。 ○図版や史料、年表を活用し、適切に情報を読み取り、戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴についてまとめられる。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴について多面的・多角的に捉え、適切に表現している。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴の変化について関心をもち、意欲的に追及している。
近代日本の歩み	25	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出してきたことを理解できる。 ○江戸幕府が滅亡して新しく成立した明治政府の行った改革の特色をとらえ、明治維新が日本の近代国家の仲間入りに大きな影響を及ぼしたことを理解する。 ○議会政治が日本で始まり、日本の国際的地位が高まったことをその他の世界との関わりからとらえる。また、当時の国際関係を理解し、日清・日露戦争が起きた原因について考察することができる。 ○近代産業の発展が近代文化を形成させたことを理解できる。	○欧米との関わり、明治維新による日本の近代化のあらましを理解し、知識を身に付ける。 ○図版や史料、年表を活用し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について考察するための適切な情報を得ている。	○政治・経済・文化といった様々な観点から考察し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について表現することができる。	○日本の開国から近代国家の成立までの過程を欧米諸国との関わりという観点からとらえ、現代の日本につながる変化について意欲的に探究している。